

信越産業 橋脚工で威力「レジコートEP」

2021/12/17 中部

信越産業（本社、東京都北区）のNETIS登録商品で鉄筋用エポキシ樹脂防さび剤「レジコートEP（赤さび色）」が高速道路の橋脚工事などで採用されている＝写真。

同製品は2017年9月に東日本・中日本・西日本高速道路の構造物施工管理要領の試験に合格した。主な特徴は①塗布した鉄筋とコンクリートとの付着応力度は赤さび色で101・2%と高い②エポキシ樹脂塗料なので強靱（きょうじん）な被膜を形成し長期間さびを防ぐ③速乾性なので作業性に優れる④分離しにくく使いやすい⑤防さび効果は24～36カ月と長い―など。

同製品を採用した東海環状自動車道養老インターチェンジ近くの橋脚工事現場で、施工を担当する岐建（大垣市）の現場技術者は「粘性があって塗っても垂れていかないので作業しやすかった」などと話した。



東海環状自動車道の橋脚工事で採用された信越産業の塗布剤「レジコートEP（赤さび色）」